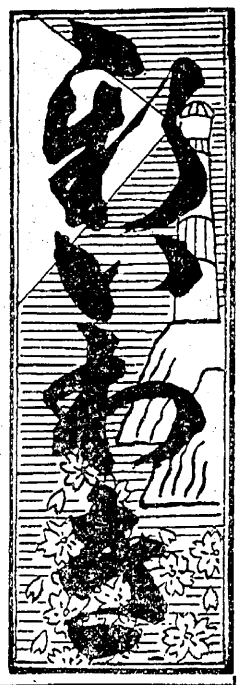
六月三十日夕刊



平町第三校南側の幹線路愈よ實現せん

有志の奔走で用地無償提供　長四百間巾六間の大道路

平町に於て南裏に新街路を償提供を交渉中であつたが開設し字立町裏に第三小學諸橋久太郎氏外全線に亘る校を建設以來非常な勢ひで三十餘名の快諾を得たので東南發展を示して來たので今三十日午前十時右關係地同方部新川町及び鎌田の有主の同意調印を添へ伏見長志者が前記第三校南側に大町宛開設方の陳情書を提出町本町通りから新川町を横したが町としても豫ねて計斷し鎌田地内國道に通ずる畫の道路であり且つ關係地延長約四百間巾六間の幹線主が喜んで潰地を承諾され路を開設すべく熱心なる希た此の際の開設を是とされ望の下に町議武田元之助、即刻縣補助申請の手續をと佐藤岩次郎兩氏を初め新川る模様であるから本年度中鎌田の兩區長その他の奔走にも實現するものと見られで關係地主に所用土地の無てゐる。

繭問屋泣かせの養蠶特設組合

仲買人ノックアウトされ　今春繭では何れも大欠損

四倉繭市場の今春繭取引は加入して市場、問屋等の仲昨報の如く二萬百八十六貫介者の手を經ず直接取引をで昨年に比し八千餘貫の激なす結果によるものでこの減となり意外の見込はづれ特設組合は益々增加の傾向に收入に大さてつを來したにあるため問屋などは全く石城販賣利用組合では渺ら採算の取れぬ經營狀態となず悲觀してゐるが之は近年養蠶家が片倉製糸その他縣繭の取引が僅か五、六百貫外の製糸會社の特設組合にに過ぎず大欠損でこぼし切つてゐるものもある。

今回東都に於て有名な駒込傳染病院に移り院長村山達二博士の下に奉職することになつた右は前記柿內博士の推奨によるもので二年後には再び帝大に歸ることになつてゐる。

阿部實の研精

醫學士

夏井出身の秀才石城郡夏井村長阿部瀧藏氏の息實氏は盤中四年の進學で昭和三年東大醫科卒業後チスのため失職し仙臺市東同校柿內三郎博士の下に生理科學を研精されてゐたが

アスピユ——あす解禁

太公望連には當り年の郡下各河筋の情報

四倉町へ——四倉町字新ルンペン——町生れ齋藤友治（四九）は數年前から東京で勞働してゐたがリウマ五番丁の知人を賴つて行く途中お定りの旅費に窮して十九日午後三時頃町役場へ嘆願旅費若干を惠まれ出立

太公望連が待ちに待つてゐた本縣の鮎漁は愈よ明一日解禁となるがさて石城郡の鮎の名所各河筋の情報はどうか？平町二三の釣天狗に聞いて見る—先づ何と云つても川部村の四時川が一番で昨年同樣豊產で發育も頗る良い、山田村の蛭田川や植田の鮫川筋にも相當大きいのが銀鱗を光らせてゐるが更に鮫川の上流上遠野村は特に素晴らしく一竿居士は必らず一度は行かずばなるまい、平町附近では夏井川が近年にない出來だと云ふがそれよりも平町の某問屋の如き今春が入場無料である、尙餘興外の製糸會社の特設組合にに過ぎず大欠損でこぼし切つてゐるものもある。

ダイナマイト　また發見

最近常磐炭礦地帶から頻々として發見されるので平署で神經を尖らしてゐる矢先またまた廿八日午後內郷村越賀炭礦坑夫根本泰浩（四二）外三名が雷管、藥火線數本を隱匿してゐるのを發見直ちに押收したが同署では時節柄重大視して引つゞき各炭礦の坑夫長屋を檢索中である。

醉漢大目玉

平窪村大字中平窪小川富治（二六）は廿九日午後八時頃泥醉して平町五丁目地內道路に大の字になつて交通の妨害をするので平署員が來を竊じて三男綱秋（一五）を絞殺し更に長女はるえ（二一）をも絞殺せんとして未遂に終つた平町古鍛治町大目玉を頂戴し今朝放還された。

無情な夫捜索

伊達郡川俣町字川原町大工

職金成德彌（三二）は廿二日午後一時頃妻と三人の子を捨てゝ情婦と手に手をとつて駈け落ちして了つたので途方に暮れた妻サトから廿九日平署へ無情な夫の捜索方を願ひ出た。

手長青年捕る

飯野村長瀨正義方雇方山形市七日町生れ信夫留吉（二五）は廿九日午後八時頃平町月見町白土ウメヨ方から現金二圓を窃取して平署に檢擧された。

○○○○○○　田町對四丁目　田町青年對四丁目野球試合は廿九日午前四時から平商業校庭で十九對十六で田町勝つ

ルンペン對役場　一丁目ルンペン對役場チーム野球試合は一日午後四時から平商校庭で擧行。

○○○○○○○　役場チーム提つ　役場チーム對古鍛治青年野球試合は廿九日午後四時から平商校庭で、十一對七で役場提つ。

涙の子殺しに眞に溫情ある判決

懲役二年執行猶豫四年

妻に先立たれ白痴の子の行尚ほ敵機來襲を迅速に發見し且つ速かに警報すべき重要なる防空監視隊の大部も又其の地方存在の官民により編成せられ之れ等を連ぬる通信網も地方在來の電信電話線を使用するを建前とするのである是れ即ち防空は國民一體の防禦作戰であるから

以　諸機關の建設、保持

訓練並に運用の爲め必要なる諸設備を稱して防空施設と謂ふので消防隊、救護隊燈火管制班、防空監視隊等は主として軍部以外の官民に依て編成し警備隊、僞裝遮散班等は軍部と地方官民との混成により其の他は軍部に依り編成すべきものでこれが爲め平素より必要なる防空部隊即ち航空隊、高射砲隊を建設訓練し且つ所要兵器々材は整備し置くべきものであつて防空施設中最も重要なるものである。

上述の防空を行ふ爲めに諸種の機關を要するが此等を任務上より大別する時は概ね次の通りで統制機關實行機關及び此等兩者の活動を容易ならしむる爲の補助機關の三ッとするのである

統制機關
- 防空司令部

實行機關
- 照空隊
- 防空監視隊
- 通信隊
- 外征軍航空隊隊
- 高射砲隊
- 阻塞氣球隊
- 消防隊
- 救護隊（救急收療、防毒、避難、燈火管制班、僞裝遮散班）

補助機關
- 情報班（警防氣象、牒報、宣傳、警備隊
- 治安維持、交通整理

父伊藤芳吉病氣の所六月廿八日午後十一時三十分死去仕候間御通知申上候

追而葬送の儀は來る七月二日午後三時自宅出棺寶國寺に於て佛式相營み候

昭　七年六月廿九日

石城郡飯野村

男　伊藤淺之助

親戚總代　芳賀元治

友人總代　山崎吉平

休日　日曜祭日
一ケ月　廿五錢
郵稅十五錢一部二錢
廣告料　一行四〇錢
場所指定廿錢增
發行兼編輯印刷人　牛谷政喜
發行所　福島縣平町大町五　新いわき新聞社

農業の友

稻の病害虫豫防と今後の管理　（七）

縣農試石城分場　伊藤技師

夫れ故に其後に出た株には完全な穗を出さないのである、それだから止葉も矢張り此の有効分ケツ限定期の頃まで餘り遲れてはよくないのである、若しその後尙ほ雜草が相當繁茂したとすればそれは拾ふ樣な工合に拔き取つて翌年の雜草の根源を除去すればよい。

要するに除草は雜草を除くことは勿論、中耕であり且つ分ケツの促進抑制である事を頭に置き早い內は深く且つ根源を引かいて新根の伸長及び分ケツを促し後期に於ての除草は根を切らない樣に寧ろ根際に土を寄せて無効分ケツの抑制をする考でやつて貰たいのである

近頃は大分朝野共に農村問題に就いて考慮せられ農産物の物價などにも相當の注意を拂はれて居られる樣だから澤山穗つて損するやうなこともあるまいから精々勉強して收益の增加を計られんことを望んで筆を措くとしやう　（完）

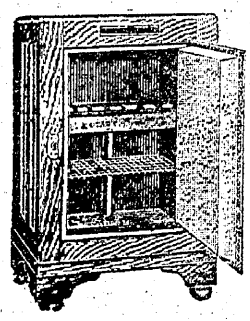
看護婦
看護婦派出
平五丁目
電話一〇七番

恐怖時代の
動脈硬化症
豫防及治療　新藥
アイヨー錠
定價　試用二圓　中六圓　大廿圓
發賣以來白熱的に歡迎せらる
特約店
山野邊藥局
平五丁目町

スペイン G.H.N 元詰
甘味葡萄酒
ゴルフポートワイン
1・10
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
（三電）西村屋藥舖（二平）

藤の園に遊ぶ樣な
食堂の裝飾を
ご覽下さいませ
紫房ゆたかな微笑みと
美しい女給のサービス
カフエータヒラ
平驛前
（電六二〇番）

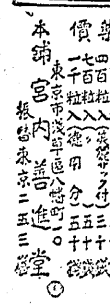
本式の
冷藏器
製造元　丸ほん



初夏サロンの新裝
店內淸楚にして氣持よく
アイスクリーム（十五錢）
タンク入りソーダ水（十五錢）
どうぞ御用命を……
田町　サロン　電話三五二番
（男給見習數名募集）

お醬油は……ヤマフル
鹽屋
醬油味噌
たひら正宗
鰹節食料品
明治生命　勝城代理店
山崎合名會社
福島縣平市一平二〇七番町
電話（營業部）
（倉庫）
山崎與三郎

消化不良
胃カタル
胃腸病
頭痛
食慾不振
心臟病
目まひ
疲勞
睡眠不足
健胃
強壯
滋養
吐瀉
退藥
中毒
宿醉
音聲を美しくする
懷中常備藥
仁丹
本舖　東京市淺草區茅町



藥價　三百粒入（容器共）二十錢　四百粒入　三十錢　一千粒入（徳用）五十錢
東京市淺草區茅町二丁目
合資會社　宮內善進堂
振替東京二五三番

地方代理店募集
特約店を募集す
平五丁目　山野邊藥局

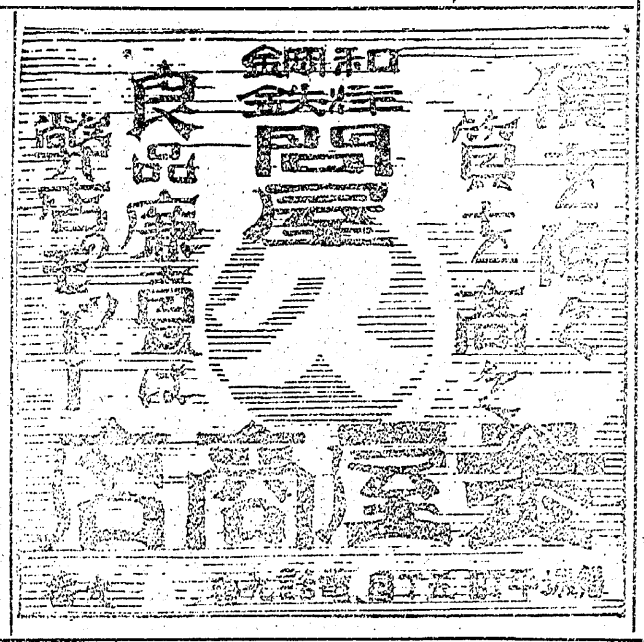
內科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
院長　醫學士　高久忠
平町田町、電話五一三番

內科　小兒科　外科　梅毒　淋病
平町　田町
市原醫院
（電話一一四番）

模範裁縫
高島屋洋服店
平町驛前　電三八六番
夏服の御用命は高島屋へ

新柄着荷

入院需應
藤沼醫院
紺屋町
平町
電話五〇七番



和洋金物
鐵砲
良品廉價

仲町に洋服屋が出來ました
工賃本位が弊店のモツトー
正確と迅速
徹夜の追從を許さぬ勉强
平町仲町一五番地
最新流行洋服調製
信夫屋洋服店
店主　齋藤一平

頭痛下しの大妙藥
宇津丸

淋病最新藥
美神淋藥
一週間四〇（
二圓分八・●五
代理店
山野邊藥局